

平成29年度第6回理事会議事録

1. 期 日 平成 30 年 3 月 4 日(日) 10 時から 14 時 00 分まで

2. 会 場 青森市民病院 3 階小会議室

参加者	総数	参加率%
12	15	80%

船水憲一	佐藤兼也	森脇公洋	福士正広	成田将崇	石倉牧人	川村匡敦	西村秀行
○	○	○	○	○	×	○	○

片岡郁美	三浦隆司	澤橋政美	岩瀧昌善	須崎勝正	小澤友昭	大湯和彦
×	○	×	○	○	○	○

監事	稲葉孝典	工藤亮裕
	○	○

船水憲一会長が議長を務め、議事録作成人に三浦隆司理事、議事録署名人に福士正広理事を指名し理事会を開催した。

3. 内 容

【報告 1】理事会 代表理事・業務執行理事業務報告

森脇副会長より業務執行役員の 12 月 3 日（第 5 回理事会開催日）から 3 月 3 日までの業務報告があった。

【報告 2】第 7 回東北医療放射線技術学術大会の監査

船水会長より報告があった。

【報告 3】青森県原子力災害医療対策専門部会委員の推薦

工藤監事より報告があった。工藤監事に代わり、次の任期について本会から森脇副会長が推薦され、県より委員に委嘱されたことが報告された。

【報告 4】第 4 回青森医用画像研究会

川村常務理事より報告があった。29 名の参加。医療情報技師、JART カウントの参加者リストは各団体に送付済みであることが報告された。

【報告 5】統一講習会

西村理事より報告があった。4 月 28 日（土）・29 日（日）青森市民病院で開催予定。カリキュラムは、昨年と同様で行うことを確認。JART ホームページで開講の案内が出たので、本会ホームページにも案内をアップすることとした。

日放技データベースを確認したところ、本日現在の受講申込者は 1 名であった。（福士理事より）

【報告 6】フレッシュャーズセミナー

西村理事より報告があった。

6 月 16 日（土）青森市民病院で開催予定。

【報告7】 県に提出した報告の修正事案について

県の公益法人立ち入り検査における決算の修正について、福土理事より報告があった。軽微な修正を理事会で承認し、総会では報告のみとすることを確認した。

【報告8】 上部消化管に関して

稲葉監事より報告があった。3月3日（土）に開催。

参加者が30名と少なかつたため、一度休止してはとの声もあがつたとのこと。しかし、一度休むと継続が難しくなること、また20代の参加者が多く専門的な評価を行える会は多くないことから開催を継続することとした。今後は臨床データを持ち寄るなど内容の検討と開催時期の検討も行っていくこととした。

【報告9】 その他

- ・健康祭り反省会に関して（成田理事より）

12月に開催された。

市民からの投書、アンケートの報告があった。

本会のブースが3団体ひとまとめで、入り口が大変混雑していたのが課題であったとのこと。

- ・MIST進捗情報（川村理事より）

参加費を1000円とし、会場内でのドリンクコーナー費用等に充てる。

8月25日アスパムで開催予定。ただし、当日は秋田のCT認定講習会と重なっているので関係者について実行委員の委嘱を考慮してほしいとのこと。

4月に会場の下見を行う予定。

医療情報技師・医用画像情報専門技師・医療画像情報精度管理士のポイントを申請予定。

特別講演などは必要ないのか？との質問が出たが、基本的には担当県に一任とのこと。

お知らせ方法にM3を考えているとのことであったが、申請が面倒だとの意見あり。今後他の方法も検討することとした。

- ・平成29年度第2回東北地域会長・教育委員合同会議（船水会長より）

統一講習会を重点的に開催してほしいとのこと。

OT、PTの指定規則の見直しがあり、来年度は診療放射線技師も見直しがあるだろうとのこと。

JARTとしては、P-METの講習会を念頭においているとのこと。（JARTでは臨床実習指導教員の認定を受けるためにはP-MET(公益財団法人医療研修推進財団)の講習会を受講の条件の一つとしている。）

<統一講習会について>

赤字防止のため 最少人数20名が原則であるが、受講者増のため20名未満でも開催してほしいとのこと。

受講料を支払った控えが領収書となる。

中止の場合、会場使用料等事前の費用はJARTが負担する。

入会申し込みで仮会員、会員手続きをしないと修了書を発行しないように変更。

時間短縮は認めない。

病院立ち入り検査で、注腸の際のカテーテル抜去は違法だという見解の担当官がいるが、その場合は報告してほしいとのこと。

- ・十和田市の会員への対応（福土理事より）

神奈川から転入の会員で7月転入手続きし、12月処理完了となった方。

「県技師会から何も案内が無い」とのクレームがあり、転入手続きのご案内を作成した。他にも「会誌は無いのか」などの質問があったが、全て円満に解決したとのこと。今後は「転入手続き」を交付して、案内を送付することとした。

- ・むつ総合病院山上技師長からの問い合わせについて（森脇副会長より）
むつ総合病院の山上技師長より、「妊娠の可能性のあった女性に、看護師からの指摘があったにもかかわらず造影CT検査を行ってしまった」事例の報告があり、被ばくに関する勉強会をするので専門家を紹介してほしいと本会に依頼があったとのこと。
被ばくよりも医療安全の観点からの検討が必要なのではないか？との意見あり。
その後の経過を確認することとなり森脇副会長が山上技師長に連絡することとした。
- ・労災認定に関して（須崎理事より）
須崎理事より弘前大学への労働基準監督署の立ち入り検査についての報告があった。
個人線量などのチェックを受け、医師の計測値の結果から指導が入ったとのこと。そのため、各科に線量計装着のアナウンスを流すとともに医師に理解を得るための講習会を開催し、12月のチェックではOKとなった。また、プロテクターの管理について記録を残すよう指導が入ったとのこと。
- ・労災認定勉強会 ノービスセミナー（船水会長より）
事象について、経過と対策の報告があったとのこと。
- ・監事に関して（工藤監事より）
今期での退任の申し入れが理事会で報告された。
- ・教育委員に関して（西村理事より）
任期満了となった。
常務理事が行った方がスムーズではないかとの意見を受け、常務理事会で石倉常務理事に打診、きちんとバックアップすることを条件に本人の了承を得たとの報告があり、理事会で承認された。
- ・代議員に関して（船水会長より）
東北会長会議で、船水会長がJARTの東北地区の理事に立候補することとなった。
教育委員の幹事は東北地域理事の県の教育委員になるため石倉常務理事が就任予定。
船水会長がJARTの理事候補になることから、代議員を辞任することになるため、残任期間は補欠の青森県立中央病院・佐藤副会長が代議員となる。次回改選には佐藤副会長と森脇副会長を代議員候補にすることとした。
- ・みちのくこまち 女性技師 青森県代表に関して（船水会長より）
片岡氏が抜け1名になるため後継として、弘前大学・中村氏に打診。
川島氏ももうじき退職となるため、もう1名候補として、あおり協立・常田氏に打診することとした。
- ・DocuWorksのバージョンアップ（バージョン9）について（稲葉監事より）
機能が増え使用しやすくなるとのことだが、まずは見積もりをとって検討することとした。

【議案1】新入会員の承認
(福士常務理事より)

前回理事会からこの間、新入会員はいない。
退会の申し込みが3名。弘前大学・長内氏は日放技だけ退会。
来年度表彰対象の方からも申し込みがあったが、もう1年継続の打診をすることを確認した。

【議案2】30年度定時総会・役員改選
(森脇副会長より)

理事会で30年6月17日に定時総会を開催する日程を承認した。
30年4月29日に予定されている理事会で現理事の意思確認をすることとした。

【議案3】30年度予算案
(福士理事より)

別紙にて提案があり、承認された。

【議案4】30年度事業計画案
(森脇副会長より)

別紙にて提案があり、承認された。

【議案5】その他

・「日当」に関する定款・規定改正

森脇副会長より提案があった。協議の結果、定款に「ただし、会務に要した費用は支払う」の一文を追加し、旅費規程を改定し雑費の項目を追加するという内容で県に確認することとした。この件については継続審議とした。

*理事会に先立ち、川村智選挙管理委員会委員長に同席をしていただき、森脇副会長より役員選挙日程の案について、理事及び監事に諸規程等の規定をもとに説明があった。今後、選挙管理委員会で機関決定し、手続きを開始することになる。

以上

本書は議事録に相違ない。

平成30年3月5日

青森市安方二丁目17番15-802号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 三浦隆司

議事録署名人 福士正広

代表理事 船水憲一

監事 稲葉孝典

監事 工藤亮裕